

令和4年9月9日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 294(2022年9月)

■クラウドファンディング4Kデジタル修復支援プロジェクト

「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」を開始しました

公益財団法人松竹大谷図書館では9月6日より、クラウドファンディングサービス「REDAYFOR」にて、名匠・小津安二郎監督が撮影し、名優・六代目尾上菊五郎が踊った歌舞伎記録映画『鏡獅子』の当館所蔵フィルムを4Kデジタル修復し、鮮明な映像と音声で蘇らせるプロジェクトを開始いたしました。

歌舞伎記録映画『鏡獅子』は昭和10(1935)年、大正、昭和を通して踊りの名手として活躍した歌舞伎俳優・六代目尾上菊五郎が高い評価を得た舞踊『春興鏡獅子』を踊り、世界的な映画監督・小津安二郎監督が、その舞台を撮影した映画作品です。小津監督唯一の記録映画であり、また初めてのトーキー映画でもあるこの作品は、当館のみならず日本の演劇・映画界にとっても貴重な財産であり、未来へと遺したい大切

な作品のひとつです。当館が所蔵しているフィルムは、昭和25(1950)年に再編集された約24分の映像です。映画『鏡獅子』のオリジナル原稿の所在は確認されていないので、当館が所蔵するフィルムは大変貴重な映像です。

しかし今回デジタル化を進めようとしているフィルムはビネガーシンドロームによる劣化が進み、このままでは記録された映像が失われてしまう恐れがあります。



歌舞伎記録映画『鏡獅子』より
六代目尾上菊五郎(獅子の精)



ビネガーシンドロームによる劣化で変形したフィルム

当館では平成25(2013)年より、クラウドファンディングで貴重資料のデジタル化や保存プロジェクトに取り組み、成果を上げております。

そこで今回のプロジェクトでは、2023年の小津安二郎生誕120年に向け、この貴重な『鏡獅子』フィルムを4Kデジタル修復し、劣化した映像と音声を蘇らせる挑戦をいたします。

一刻も早いデジタル化が望まれるこの貴重な映像を4Kデジタル修復により蘇らせ、次世代まで届けることができますよう、皆様のお力添えをお願いいたします。

当館は平成24(2012)年に専門図書館として初めてクラウドファンディングに取り組んで以来、毎年プロジェクトで成果を上げ、これまでの10回のプロジェクトで皆さまより頂戴したご支援は、累計で2,969万円を超えました。

11回目となる今年プロジェクトにおきましても、皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

目次:

クラウドファンディング4Kデジタル修復支援プロジェクト【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」を開始しました	1
第93回所蔵資料ミニ展示「日本映画を走る列車-鉄道開業150年-」	2
歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第9回が掲載されています	2
『銀座百点』2022年9月号で当館のデジタルアーカイブをご紹介します	3
新着資料案内	3
資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
利用案内	4

プロジェクトでは各支援金額に応じ、当プロジェクト限定『鏡獅子』完成台本の表紙デザインの文庫本カバーや『鏡獅子』オリジナルフィルムしおり、『鏡獅子』4Kデジタル版初号試写会へのご招待（1回25名程度、先着順）など、趣向を凝らしたリターンが設定されています。



プロジェクトオリジナルフィルムしおり
（イメージ）

【本プロジェクト概要】

プロジェクト名:「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」

募集期間: 令和4年9月6日11時より10月26日23時まで【50日間】

目標金額: 400万円(『鏡獅子』4Kデジタル修復費: 350万円、利用手数料: 50万円)

募集金額: 一口 3,000円 / 5,000円 / 10,000円 / 30,000円 / 50,000円

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトへの支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、税制の優遇措置は受けられません。

▼詳しくはURLまたはQRコードよりプロジェクトページをご覧ください

▼詳しくは <https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan11>

▼公式Facebookでも情報発信しております

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



■第93回所蔵資料ミニ展示「日本映画を走る列車-鉄道開業150年-」 展示期間: 2022/8/29-10/26 於閲覧室

本年は、明治5年[1872]年10月14日に東京新橋と横浜間を結ぶ鉄道が開業してから150年目の節目を迎える年です。鉄道は戦前よりさまざまな日本映画に登場してきました。今回の展示では、鉄道に関連した作品を中心に、かつて映画館の館内に貼られていたロビーカードや台本、プレス、プログラムなど計21点の資料を展示します。

右は、昭和初期の映画『大都会 労働篇』（1929年牛原虚彦監督）の資料です。困難に見舞われながらも最新式電気機関車を発明するひとりの機関手の姿を描いた作品で、明朗な蒲田映画を得意とした牛原虚彦監督がメガホンをとりました。当時の松竹蒲田映画の大スター、鈴木傳明が主演の機関手を演じ、日本映画を代表する名女優田中絹代もヒロインとして出演しました。



左: 雑誌『蒲田』1929年6月号
表紙は機関車の正面を背に写る『大都会 労働篇』主演の鈴木傳明
右: 映画館プログラム『帝国館ニュース』No.8(1929年5月3日発行)表紙裏掲載の『大都会 労働篇』の近日公開を伝える宣伝広告
鈴木傳明、田中絹代ら出演者の後ろに機関車が写る

展示期間: 2022年8月29日～10月26日

展示場所: 松竹大谷図書館 閲覧室

※展示は予約なしでご覧いただけます(状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます)。※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。電話: 03-5550-1694(平日: 10時～17時)

■歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第9回が掲載されています

当館スタッフが執筆を担当する歌舞伎座筋書連載【松竹大谷図書館の名品】。9月は、当館所蔵の「歌舞伎俳優の芸談集」です。

当館では、明治から大正・昭和にかけて活躍した近代の歌舞伎俳優の芸談集を多数所蔵しております。歌舞伎の芸に関する逸話、技術や工夫を俳優自身が執筆した図書のほか、歌舞伎研究者などによる聞き書きや口述、対談といった様々な形式のものがあります。自身の生い立ちを語った自伝や、日頃の生活の中で感じたこと、思い出話などを語った随筆類などは、往年の名優の人となりに想いを馳せることができます。

筋書では、踊りの名手・六代目尾上菊五郎による著書『藝』の写真を交えながらご紹介しています。歌舞伎座の九月公演は、筋書の連載記事もぜひご覧ください。



左より: 『尾上菊五郎自傳』、『梅の下風』、『歌右衛門自傳』、『鴉治郎自傳』、『花影流水』、『中車藝談』、『藝』、『藝談一世一代』、『梅玉藝談』、『吉右衛門自伝』、『寿の字海老』、『大文字草』、『猿翁芸談聞書』、『手前味噌 三代目中村仲蔵自伝』

■『銀座百点』2022年9月号で当館のデジタルアーカイブをご紹介いただきました

銀座の街の魅力を紹介する月刊誌『銀座百点』2022年9月号「Topics」欄に、当館が今年7月1日に公開した、戦前の歌舞伎座筋書をWeb上で閲覧できるデジタルアーカイブの情報を掲載していただきました。『銀座百点』は昭和30(1955年)創刊の横長の小冊子で、銀座の老舗のレジ横などに置いてあるのを見かけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。銀座の情報だけでなく、各界の有名人によるエッセイや座談会など、読み応えのある素敵な雑誌です。9月号には、中村又五郎丈と山川静夫氏との対談も掲載されています。銀座のお店を訪れた際にはぜひお手にとって、ご覧ください。

▽『銀座百点』HPはこちら

<http://www.hyakuten.or.jp/>



新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系8月演劇公演資料

○ … 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新選組』	○	○		
	『闇梅百物語』	○	○		
	『安政奇聞夜嵐』	○	○	○	○
	『浮世風呂』		○		
	『東海道中膝栗毛 弥次喜多流離譚』	○	○		
新橋演舞場	『流星の音色』			○	
	『超歌舞伎のみかた』				
	『萬代春歌舞伎踊』	○		○	○
南座	『元禄花見踊』	○			
	『東海道四谷怪談』	○		○	○
松竹座	『関西ジャニーズJr. Space Journey! 僕たちの軌跡』				○

◆映画資料 『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEスターリッシュツアーーズ』プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『新章パリ・オペラ座 特別なシーズンの始まり』『ブアン/友だちと呼ばせて』『もいろいろクローバーZ アイドルの向こう側 特別上映版』『DC がんばれ!スーパーペット』『TANG タング』『アキラとあきら』『異動辞令は音楽隊!』『NOPE ノープ』『ブライアン・ウィルソン 約束の旅路』『野球部に花束を』『ソニック・ザ・ムービー ソニック VS ナックルズ』『1640日の家族』『今夜、世界からこの恋が消えても』『GHOSTBOOK おぼけずかん』『パイオレンスアクション』『ジュラシック・ワールド 新たな支配者』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Confetti』2022年September/『the座』114号/『あぜくら』2022年8月号/『ほうおう』2022年10月号/『テアトロ』2022年9月号/『ラ・アルプ』2022年9月号/『喝采』2022年11月号/『劇評』令和4(2022)年8月/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol. 52, Vol. 53/『国立演芸場公演ガイド』令和4年8月号, 9月号/『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』16号/『大向う』令和4年8月号/『長唄』131号/『日本芸術文化振興会ニュース』2022年5月号-9月号/『日本照明家協会誌』2022年8月号/『日本舞踊』74巻9月号/『悲劇喜劇』2022年9月号/『邦楽の友』令和4年9月号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2022年10月号/『NFAJプログラム』No. 39/『SCREEN』2022年10月号/『TVガイド』2022年8/12号, 8/19号, 8/26号, 9/2号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年10月号/『キネマ旬報』2022年8月下旬号, 9月上旬特別号/『シナリオ』2022年9月号, 10月号/『シナリオ教室』2022年9月号/『ドラマ』2022年9月号/『ピクトアーツ』2022年10月号/『映画テレビ技術』2022年9月号/『映画芸術』480号/『映画撮影』No. 232/『映画時報』2022年7月号/『日経エンタテインメント!』2022年9月号/『文化通信ジャーナル』2022年8月号, 9月号

◆他社演劇公演資料 (2022年 6月-8月) (順不同) サンライズプロモーション東京『処女のままだ死ぬやつなんていない、みんな世の中にやられちゃうからな』博品館劇場プログラム/ふお〜ゆ〜meets梅棒『Only1, NOT No. 1』シアタークリエプログラム/音楽劇『スラムドッグ\$ミリオネア』シアタークリエプログラム/前進座『くず〜い屑屋でござい』地方巡業プログラム/『第7回晴の会』近鉄アート館プログラム/『第1回中村福助・児太郎の会』草月ホールプログラム/『JYUJIYA日本橋歌舞伎公演』日本橋公会堂プログラム/『第169回舞踊公演』国立劇場小劇場プログラム/『第24回音の会』国立劇場小劇場プログラム/『第54回特別企画公演』国立劇場小劇場プログラム/『第32回上方歌舞伎会』国立文楽劇場プログラム

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2022年6月-7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、邦楽の友社、シナリオ・センター、特定非常利活動法人映像産業振興機構(VIPO)、御園座演劇図書館、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、株式会社日本舞踊社、世田谷文学館、国立劇場、有限会社合同通信社、一般社団法人日本民間放送連盟、キネマ旬報社、神奈川県演劇連盟、新国立劇場情報センター、株式会社オフィスタカヤ、樽松大剛、丸善出版株式会社、愛知芸術文化センター、(公社)日本舞踊協会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、劇団扉座、公益社団法人日本照明家協会、国立映画アーカイブ、日本映画テレビプロデューサー協会、岩波ホール、早稲田大学演劇博物館、墨染会、博多座、千葉成就、若林さだ吉、浦崎浩實、東宝株式会社映像事業部、劇団銅鑼、(株)近代映画社、石川啓子、一般財団法人映画倫理機構、劇団民藝、川崎哲男、おとなのデジタルTVナビ編集部、銀座百店会、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、劇団俳優座、文学座、帝国劇場、銀座 博品館劇場、無声映画鑑賞会、シアタークリエ、音貞オప్పケ祭実行委員会(茅ヶ崎)、古井戸秀夫、有限会社劇団東演、磯田暉子、こまつ座、株式会社文学座、文京ふるさと歴史館、人形劇団プーク、公益財団法人日本近代文学館、丹野達弥、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、BS松竹東急、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、明治学院大学図書館、公益社団法人日本演劇興行協会、日本劇作家協会

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和4[2022]年8月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「**前日までの予約制**」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2022年6月6日改定)

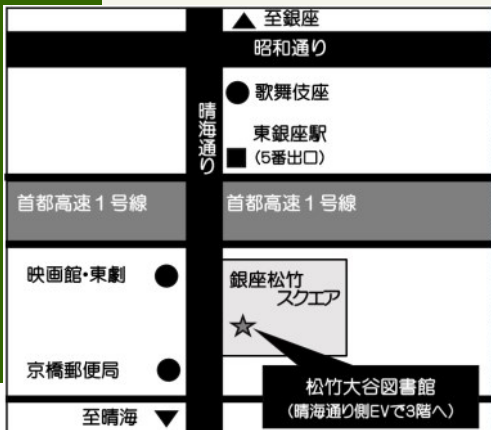
- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際は引き続きマスクの着用と手指の消毒をお願い致します。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索: <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら: <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>